

上総まちなか大学院／開講 <http://www.kofuza.com/html/act.html>

参加費無料

- ① 3.11／《過現未》キックオフ・イベント@太東埼灯台広場 ②4.11／過去から学ぶ・究極の安全&防災対策とは?! ③5.11／《現在》「フェーズフリーとは?」 ④6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる」
⑤7.11／《過去》「展望室&FM局付き発電風車」 ⑥8.11／《現在》「フェーズフリーと防災食」

⑦9.11／《未来》「森の防波堤の可能性(FS)」&討論

講師：目黒伸一（国際生態学センター 主幹研究員・工博）

《コロナ禍のなかオンライン(リモート)で参加かもしれません・・・?!》

◇日時 2021年9月11日(土) 13:30~16:00

◇会場 いすみ市役所大原文化センター大会議室(リアル定員40名)

いすみ市大原 7838 TEL 0470-63-1222

<https://map.goo.ne.jp/place/EMRFF8HA/map/>

【講座背景】千葉県では、平成15年8月に「千葉東沿岸海岸保全基本計画」を策定し、海岸の防護・環境・利用の面から施設整備を進めている。しかし平成23年3月11日に発生した東日本大震災による津波により、千葉東沿岸でも被害が発生したことから、津波対策に特にポイントを置き、平成25年11月に本計画は変更された。その後、平成26年6月に海岸法の一部が改正され、さらに平成27年2月に海岸保全基本方針が変更されたので、本計画は平成28年9月に再度、計画変更されている。しかし、その細目は、未決定の段階にある。

【講座内容】今回のテーマには、再度、「森の防波堤(森の防潮堤)」を取り上げる。宮城県や福島県、また静岡県等では、津波対策として、森の防潮堤の建設が、市民とともに植樹し「私たちの防潮堤としてデザインする」ことが行われている。「混植・密植型植樹」の「宮脇方式*」が、採用されている。その具体的な事例について、解説して頂く。(*宮脇昭先生は、本年7月16日に急逝されました。)



- ⑧ 10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の10次化」
⑨ 11.11／《現在》「身近な暮らしにフェーズフリー」
⑩ 12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする」
⑪ 1.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ



大原文化センターへのアクセス：JR外房線 大原駅下車、徒歩6分。アドレス：いすみ市大原 7838
TEL 0470-63-1222

【目的】2021年の今年、東日本大震災の10年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥インフルエンザなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え実践し、安全安心で、持続可能な いすみ市 をみなさんとともに作りたと思います。

【主催】一般社団法人 洗楓座／上総まちなか大学院《フェーズフリーアクションパートナーメンバーAP9021004》

【共催】イベント・バンキング運営組織委員会

【協賛】いたずら丸太工房・里山風景(木村廣志)、コスモ食品(株)、(株)光と風の研究所、一般社団法人 Tsumugi

【後援】いすみ市、千葉日報社、NPO 太東埼燈台クラブ

【問合せ】kofuza@gmail.com / 090-1268-5882 (佐藤建吉)

/ <http://www.kofuza.com/html/act.html>

